

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人清幸会	代表者	池田 香織	法人・事業所の 特徴	那須塩原市、那須町に特別養護老人ホーム（4施設）小規模多機能型施設（4事業所）グループホーム（3事業所）デイサービス（2事業所）認知症デイ（1事業所）居宅介護支援（1事業所）地域包括（2事業所）があり、利用者のニーズや身体状況に合ったサービスの提供を行うことができます。
事業所名	まつばら荘	管理者	浅石 亜紀子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	1人	0人	2人	1人	0人	13人	0人	18人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	・新人職員が増えていることも有り、朝礼夕礼の場を活用し、事業所の取り組みなどを分かりやすく伝えていく。 ・取り組みを個人の目標に反映させることで、意識を高める。	・概ね達成できていると考えられる。朝礼夕礼の場において、日々の業務の反省点、改善点を話し合い、事業所としての方向性を確認することで意思疎通を図ったことが功を奏している要因と思われる。 ・2カ月に一度の個人目標について目標設定当初の自己意識を顧みることではできている。	・登録者数も安定しており、細かな支援の成果と思われる。通所、宿泊、訪問の状況も偏りなく提供されており、小規模の特性が活かされている。 ・利用者と職員が互いにストレスなく過ごせるよう思いやりを忘れずに行っていたきたい。 ・職員同士の情報共有や連携の強化が図れる計画になっていると思われる。日頃から意識して取り組まれることを期待する。	・朝礼夕礼に出席した職員からの引継ぎ不足が浮き彫りになっており、いかに正確に漏れなく引き継げるかが課題であることから、申し送る側だけでなく受ける側も積極的に行動するよう意識の改善をしていく。 ・設定した個人目標に対して、実態と目標の差について反省と改善を行ったうえで、それを土台とし、更なる目標の設定を行い、自己改革の意識を高める。
B. 事業所の しつらえ・環境	・パンフレットは、引き続き定期的に内容を確認するとともに必要に応じて最新のものに更新を行う。 ・職員紹介の掲示を、小規模とグループホームの玄関に別々に掲示する事でデイサービスご利用の際等、利用者様も目にする事が出来る。	・パンフレットの更新については必要に応じての変更は留まった。 ・職員紹介を通して、職員同士の理解が深まり、連携が取りやすくなるための一助になっている。また、利用者様にも興味を持って頂き、じっくりと読まれている様子も見られた。	・外出制限がある中、施設内で季節を意識した行事も開催されており楽しそうな様子が伝わってくる。 ・職員紹介の掲示等、利用者様と職員の距離感が近づくような取り組みをされており、非常に良い。 ・入居者の方々に寄り添った活動をしている。今後も入居者の方々の過ごしやすい環境づくりをお願いしたい。	・パンフレットの更新は引き続き定期的に内容を確認し、必要に応じて見易さなどの改良も含め更新していく。 ・職員自身を知って頂く良い媒体として、来年度も積極的に取り組んでいく。利用者様にも楽しんで頂けるよう、小規模及びグループホームでチームとして一体感が感じられるよう続けていく。

C. 事業所と地域のかかわり	・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、面会等制限を余儀なくされている現状の中、引き続き、困りごとや相談をしやすい場所になるよう地域の方に発信していく。	・昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響を色濃く受けており、面会等の制限をせざるを得ない事もあったが、ご相談頂いた中で要望を伺い、可能であることは出来る限り対応した。	・まつばら便りを通じて取り組みが発信されている。 ・急な宿泊でも対応してくれた。 ・少しの事で話をよく聞いて相談にのってくれる。 ・コロナ禍にて地域交流は非常に困難であると思われるが、定期的な連絡を取り合い、終息後直ぐに再開できるような取り組みを工夫して欲しい。 ・職員の方々はとても気さくで気持ちの良い挨拶をしてくれる。	・新型コロナウイルス感染症が今後も長引くと予想されるからこそ、自信を持って地域の方に発信できるよう、どんなに小さな困りごとや相談事でも真摯に丁寧な対応を心掛けていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・職員が民生委員や地域資源を把握出来ていないため、地域資源についての内部研修を行う。	・昨年に引き続き書面開催を行っている。アンケートは意見を取り入れられる貴重な機会と捉え、結果を現場と共有し改善に活かすよう取り入る。 ・地域の状況把握は難しい面もあるが、発信についてはまつばら便りを充実させ、活動報告を盛り込むなど、より積極的に活用できた。	- 地域資源について理解を深める事は地域密着型サービスとして非常に重要なことと思う。地域との交流を深めるためにも積極的に活用して欲しい。 ・広い視野を持って学ぼうとする姿勢が感じられる。分かりやすい資料が添付されている。 ・地域との連携をより深めるためにも、今後も研修の実施をお願いしたい。	・地域資源は多岐に渡り、当施設とのかかわりが薄い資源もあるため、更に理解するため今後も研修を継続する。また、利用できる地域資源があれば積極的に取り入れる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・書面開催の中、地域の情報を得にくい。まつばら荘取り組みについてのアンケート項目に「地域に心配な方はいますか？その方はどんな様子ですか？」等という質問を取り入れ、地域の状況把握に努める。	・直接お伝えする機会が設けられない中、いかに取り組みを知って頂くかに重点を置き、何が媒体として向いているかを検討し、よりきめ細かい報告を心掛けた。概ね良好な反応が頂けている事に手ごたえを感じている。	・マンネリ化してしまいがちな研修も毎回適切な課題を用いて勉強するなど趣向を凝らして行われているのが分かる。 ・質の高い研修を行っているのが見える。 ・ヒヤリハットについて事例検討が適切に実施されている。職員一人ひとりの意識向上のため積極的な取組みを期待する。 ・定期的に研修、検討することは職員一人ひとりの意識付けにとっても有効だと思う。 ・内部研修の資料が見やすく、分かりやすい。	・当面書面開催が継続されることを見越してアンケートを積極的に活用していく必要がある。事業所側の知り得たい情報と、地域が知り得たい情報が互いに得られるよう努める。 ・引き続き、まつばら便りにて発信を続ける。また、内容については随時改良を重ね、より分かりやすく伝わるよう努力していく。

F. 事業所の 防災・災害対策	・防災、災害対策に加え、新型コロナウイルス感染症クラスターへの対策と対応策に取り組む。	・コロナが落ち着いたら、消防訓練等の行事も地域の方々と一緒に行っていきたい。 ・当施設でも新型コロナウイルスの影響を受けることとなったが、積極的に感染症対策を行った結果クラスターを回避出来た事は大きな意義があった。	・総合避難訓練について課題になった点も含め目標を設定し取り組んで頂けることを期待する。 ・コロナ対策において色々苦勞されているとは思いますが、前向きに頑張りたい。 ・利用者参加型の火災想定訓練は実際の動きに近い形で行ったので、リアルに想定できたのでは。 ・消防訓練を実施し、課題や改善点等の発見はあったか。 ・コロナ終息後には自治会合同で予防訓練を実施したい。 ・R5年度末のBCP策定義務付けの準備をお願いします。	・感染症のみならず、防災や災害対策についても常日頃からいざという時を想定し、引き続き全職員が積極的に予防訓練を行っていく。
----------------------------	---	--	---	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 9月 19日 (15:00 ~ 15:30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	菊地・吉田・石田・室井(稔)・渡邊・越水

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	3人	0人	12人

前回の改善計画

- ・『利用者様優先』の意識付けの為、朝礼、夕礼にて事例を出しながら繰り返し職員に伝える。
- ・アセスメントシートを箇条書きにして、1文1情報など『分かりやすくシンプル』に変更をすることで職員が情報を把握しやすくする。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者様の情報を共有するため朝礼・夕礼を活用しミーティング時間を確保できた。有意義な時間を無駄にする事無く効率的に申し送りや情報交換できた一方、出席した職員が把握した情報が引継がれないという問題点も浮き彫りになった。アセスメントシートで把握した情報を元に早い段階で新規利用者様が施設に馴染めるよう努力した結果、「利用日数の増加希望もあり、一定の成果は現れた。しかし継続する事は容易でなく、日々の業務に追われ疎かになりがちな利用者様との触れ合いの時間を継続して設ける体制を整える必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	8	2	0	12 (無回答0)
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	11	0	0	12 (無回答0)
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	7	1	0	12 (無回答0)
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	9	0	0	12 (無回答0)

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用開始前にアセスメント等を確認し留意事項を職員間で共有する事で、利用者様の不安を少なくするよう心掛けている。利用者様優先の意識付けを行い、新たな情報があれば報告・連絡・相談にて対応のブラッシュアップを図っている。また、特に重要なポイントは申し送りだけでなく朝夕のミーティングを通して重点的に引継ぎを行い共有している。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

利用者様優先の意識付けはできつつあるが、多忙ゆえに余裕が無く業務を優先させてしまう傾向がみられる。朝夕のミーティング出席者には共有された事項が、その後に引継ぎされずに十分な情報共有ができておらず申し送りが機能していないため、ご利用者様が快適に過ごすための嗜好の把握が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・利用者様を優先する事を大前提に意識改革出来るよう、寄り添える時間帯を設ける。
- ・日々のミーティングで各職員が自ずと積極的に情報を把握するためのタスクを整理し申し送りを徹底する。
- ・朝礼夕礼の際に各職員がメモを取り、その日の流れを確認し自身の動きを把握するよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 9月 19日 (10:00 ~15:30)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	菊地・吉田・石田・室井(稔)・渡邊・越水

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	11	1	0人	12人

前回の改善計画

- ・日々の朝礼、夕礼を伝達手段としての場から、話し合いの場としての方向に意識を転換する。
- ・マニュアルの理解に個人差があり、自己流の業務対応傾向がみられるので職員間での声掛け確認の習慣化に取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果

朝礼、夕礼の際に問題についてミーティングを行い短期的な部分の解決方法を模索する時間を設ける事が出来ている。しかし、申し送りが上手く機能せずに、自己流の解釈に繋がってしまい、結果として聞いた聞いていないの押し問答になる事があった。申し送りに重きを置いたため、意識が目を通す事に集中し自身の行動見直しにまで繋がらない。フィードバックし如何に自身の介護スキルに繋げるか意識改善が求められる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	10	1	0	12 (無回答 0)
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	9	0	0	12 (無回答 0)
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	6	3	0	12 (無回答 0)
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	7	3	0	12 (無回答 0)

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ケアプランにて本人の目標を把握し、利用者様やご家族様の希望に添えるよう情報共有し実行している。支援していく時間の中で、初期段階で把握しきれない思考や性格の特徴および日々変化する状態も月一度の会議や朝夕のミーティングにおいて職員間の情報共有を行い対応の統一を図っている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

声掛け確認の習慣化など職員間の密な連携を取るための取組みが足りず、利用者様の意欲を高め潜在的なニーズを引き出すところまで至っていない。業務に意識が向いてしまい利用者様優先の意識が崩れる事で申し送りや朝夕のミーティングでの情報共有が活かされず見逃しがある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・多忙な業務の中でも報告・連絡・相談を徹底するため、会議やミーティングで話われた内容を周知徹底し欠席者も把握できるように声掛けを行う。
- ・日々のシフトに関わらず統一の流れが作れるようメモ取りを徹底し、ベテランと新人職員に関わらず全職員が「その日のまとめ役」が出来るよう意識改革を促す。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 9月19日 (15:00 ~ 15:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	菊地・吉田・石田・室井(稔)・渡邊・越水

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	1人	0人	12人

前回の改善計画	・本人意思・施設・ご家族との報告・連絡・相談を行うことで、真のニーズに応じていけるよう取り組む。 ・ご家族と施設との意思疎通の向上に向けて、分かりやすい記録と情報発信に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者様とは滞在中や入浴介助時、送迎時の車中での会話を大切に、また家族様と密な関係を築けるよう連絡帳をより充実させた。結果、家族様からの要望に応えられるようになってはいるが、職員同士の連携不足により家族様の二度手間になるような事象も起こっているため、さらに注意深く確認する必要がある。更なる意思疎通に向けては少しの変化にも気付けるよう、また記録が漏れないよう各職員が自覚をもってより一層注力していかなければならない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	6	5	0	12 (無回答0)
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	9	0	0	12 (無回答0)
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	8	2	1	12 (無回答0)
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	9	0	0	12 (無回答0)
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	10	0	0	12 (無回答0)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者様の気持ちに寄り添い体調の変化や表情に注視し申し送りや朝礼、夕礼時のミーティングなどを活用し職員間で常に情報共有し支援できている。また、ご家族様とは荘発行のお便りで活動報告を行ったり、連絡帳を通じて日々の変化や気付きをお伝えするなどコミュニケーションを図っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事前の暮らしが十分把握できていないまま受け入れし、本人の習慣や言語化できない要望が十分に反映されていない。申し送りや連絡帳などの連絡事項の見逃しがあり、ご家族様への連絡や要望に応えられない事案や、小さな変化を見落としてしまう事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・日々変化する状態や利用者様から発せられるサインを見落とす事の無いように声掛けを通して観察する力をつける。 ・申し送りや連絡状況などチェックする事も大切だが確認し正確に把握する事により重点を置く。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 9月 19日 (15:00～ 15:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	菊地・吉田・石田・室井(稔)・渡邊・越水

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	1人	0人	12人

前回の改善計画	・コロナ後の『これからの在り方』を見据えて、施設として出来る事に焦点を当て、積極的に提案出来る体制を身に付ける。 ・職員一人一人の考える力と思考の習慣化の意識を高め、業務の効率化を職員同士で改善出来る職場を目指す。 ・職員間で仕事に対するやりがいを高め合い、その意欲をご利用者様とご家族様を通して地域に発信する。
前回の改善計画に対する取組み結果	昨年に引き続きコロナ禍においての感染症対策の観点から、地域資源の活用は限定的となっている。地域に発信できる情報は先述の様な制限があるため紙面によるものが主となった。そのため、荘で行っているイベント等においてはお便りを活用し発信している。会議やミーティングを通し職員一人一人が意見を述べ提案する力は徐々にについているが、丁寧な対応で実行するとなると職員に大きな差が出ているため、差を埋める為の改善が求められる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	12	0	0	12 (無回答 0)
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	3	0	12 (無回答 0)
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	8	2	0	12 (無回答 0)
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	8	2	1	12 (無回答 0)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員全員が地域社会やご家族との信頼関係を大切にする意識を持ち、訪問の利用者様が地域のイベントに積極的に参加できるよう送迎支援を行っている。何気ない会話の中で生活スタイルや関心事等を把握出来るよう努め、本人との人間関係を良くするよう、施設の中で出来る範囲の事は積極的に取り組んでいる。通所の方向けの連絡帳や月一発行のお便りを通じて荘の取り組みや活動をお知らせし、コロナ禍でもご家族様との連携を意識している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日々の業務に追われ職員間で仕事に対する価値観の擦り合わせができず遣り甲斐を高め合うことができなかった。ご家族と連携できる時間が少ないため背景を理解しきれなかった結果、ご家族様からクレーム等、信用を失ってしまうような出来事があった。ご家族との接点が少ない分、利用者様からのお話で把握に努めているが一人一人に時間が割けておらず浅い関わりになってしまっている。また、地域資源を十分に生かすことがコロナ禍で難しくなっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・本人の生活史、地域資源について現場職員へ情報を供給して貰い積極的に把握するよう努める。 ・得手不得手等の自己理解を深め、自分と向き合う時間を設ける事で自ずと考え助け合う力を養う。 ・限りある時間の中で職員同士が連携し職員全体に考える力と思考の習慣化の意識を浸透させる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 9月19日 (15:00 ~ 15:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	菊地・吉田・石田・室井(稔)・渡邊・越水

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	9人	2人	0人	12人

前回の改善計画	・職員一人一人に緊急時対応の研修教育を行い、理解力を確認する仕組みを作る。 ・緊急時に平常心で対応出来るように、事前対策や緊急時の連絡リストを作成し、適応力の向上に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	緊急時の研修教育についてはマニュアルを活用し、個々の職員が把握出来ている。ただし、理解力と理解度について確認する仕組みが出来ていないため、職員全員の習熟度については把握できていない。緊急時の連絡リストなど周知徹底は出来ているが、研修回数や研修内容のバリエーションが少ないので、平常心の育成には様々な状況に対応出来るよう研修を積み重ねる必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	7	3	2	12 (無回答0)
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5	7	0	0	12 (無回答0)
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	8	0	0	12 (無回答0)
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4	7	1	0	12 (無回答0)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
体調不良など異常の早期発見に努めると共に緊急時の対応マニュアル等は把握出来ている。申し送りや朝礼、夕礼などミーティングを活用し利用者様の変調については情報共有や意見交換を行い、都度ニーズに沿った柔軟な対応へと繋がるようサービスの調整を行っている。地域資源については、訪問理美容や訪問診療など一部うまく取り入れて行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源を有効に活用するまでには至っていない。思い込みや先入観など日々の業務において個々の対応に見落としが有り利用者様のニーズに合ったサービスを実際に行えていると言い難い。また、研修の理解度を確認する仕組みが出来ていないため緊急時の対応を全員が確実に遂行できるか判断つかない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・新規職員の経験を上げ、共通認識を養うための有効手段として緊急時のマニュアルを活用する。 ・直接的に関わりのある地域資源に加え、関りの無い資源も施設に合った資源は有効的に活用していく。 ・研修の理解度を把握するため、研修報告書などを活用し思い込みや先入観、自己流の解釈などを改め共通認識を持てるよう努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 9 月 19 日 (15:30 ~ 15:50)
6. 連携・協働	メンバー	鈴木ケアマネ・菊地・室井(稔)・渡邊・越水

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	4 人	0 人	12 人

前回の改善計画	・現状を踏まえて、感染予防の徹底と施設内で出来る新たなレクリエーションや行事について職員間で見直しを図る。 ・コロナ終息を見据えた地域との連携・協働の構築を準備する。
前回の改善計画に対する取り組み結果	感染症予防を意識しつつレクリエーションの内容については検討段階に入っている。特に機能回復訓練に重点を置き、荘独自の体操を取り入れるため音楽と体操を融合させたプログラムを作成している。今後の課題としては、作成したプログラムを職員だけでなく如何に利用者様と共に行っていくかを検討しなければならない。コロナとの共存が叫ばれる昨今、感染症対策を徹底しながら引き続きいつ地域との連携・共同を構築する段階に入っても良いように準備する必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	0	3	4	5	12 (無回答 0)
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	5	5	12 (無回答 0)
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	0	1	4	7	12 (無回答 0)
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	2	3	7	12 (無回答 0)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
コロナ禍のため感染予防の徹底に努めている。現状を踏まえ、ソーシャルディスタンスを意識したレクリエーションや、利用者様の誕生日会など可能な範囲で催し物を行っている。また、消防署の指示の元で消防訓練を行ったり、特定の担当者による地域会議への定期的な参加を行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
感染症対策がとられている昨今、自治体や地域と関わる事自体が難しく、季節の行事等について地域との相互交友は行われていない。コロナ禍において地域住民との関わりが持てない中で施設内を中心とした新たなレクリエーションや行事について見直しを図れていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・コロナ禍のため地域との連携や協働は出来ていないが終息後に積極的に参加する準備を行う。 ・業務と平行し現状に合ったイベントやレクリエーションを利用者様目線に立ち返り改善、発案する。 ・現在進行している体操プログラムを周知、浸透させていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 9月 19日 (15:30 ~ 15:50)
7. 運営	メンバー	鈴木ケアマネ・菊地・室井(稔)・渡邊・越水

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	3人	0人	12人

前回の改善計画	・引き続き施設の活動内容について紙面で報告し、近隣との関係を維持していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	昨年に引き続きまつばら便りの内容を充実させる事を心掛け、運営推進会議にて事業所の活動内容を報告するなど積極的に発信している。利用者様、ご家族様、近隣向けに発信する紙面は、文字を通して思いを伝えられるよう引き続き構成等を考慮し改良を積み重ねていく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	3	6	2	1	12 (無回答 0)
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10	1	0	12 (無回答 0)
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	10	1	1	12 (無回答 0)
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	1	5	4	12 (無回答 0)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
まつばら便りを活用し事業所の現状や活動内容等の報告を紙面で行っている。またご家族と接した際には雑談したり要望を伺ったり、隔月の運営推進会議にて事業所としての活動内容を地域へ発信している。ご家族からの苦情に関しては真摯に受け止め即座にミーティングにて情報共有し、月一会議にて議題に上げ意見を述べ合っている。また、点検シートを作成するなど改善を重ね再発防止に努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ禍において感染症の観点から交流自体がままならず、地域や近隣と目に見えての協働した取組みは出来ていない。利用者様からの意見や苦情については日々の業務に埋もれてしまい拾い上げる事が出来ない事も多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・感染症問題は深刻ではあるが、お便りや運営推進委員会の紙面開催など可能な範囲で間接的に交流を進める。 ・コロナ終息後を見据え、地域との関わりを積極的に推進できる環境を整えていく。 ・意見や苦情から拾い上げた情報を、改善するための要素にするため積極的に取り入れ、周知徹底する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 9月 19日 (15:30 ~ 15:50)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	鈴木ケアマネ・菊地・室井(稔)・渡邊・越水

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	11人	1人	0人	12人

前回の改善計画	・ 人の入れ替えに対応出来るように役割分担の明確化をして業務内容の見直しをする。 ・ ヒヤリハットを活用してリスクマネジメントを職員全員に伝える環境作りをする。 ・ 決まりごとの周知、徹底、継続を定着させるためまずは朝礼夕礼の時間厳守から取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	役割分担の明確化はされたが各職員の経験値も有り遂行具合に差が出てしまう事で、経験のある職員による「育てる」ではなく「手を加える」になってしまっている。経験の浅い職員がヒヤリハット等を如何に理解しフィードバックできるかの環境作りが疎かになってしまったのは否めない。時間厳守に対しての職員の意識改革が進んでいる事から、理解できれば遂行出来る事を他の業務にも生かしていく必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	6	1	2	12 (無回答 0)
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	4	1	3	12 (無回答 0)
③ 地域連絡会に参加していますか	0	2	5	5	12 (無回答 0)
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	9	2	0	12 (無回答 0)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ヒヤリハットを活用することで同じ事象を起こさぬよう対策し全体で共有する事でリスクマネジメントできている。役割分担を明確にして問題点に対し都度業務内容の見直しを行っている。職場内研修の担当を受け持つ事で研修内容を正確に把握し、理解度を深める事で他の職員に分かり易く伝える事が出来ている。研修を受ける側だけでなく、担当を受け持つ事もスキルアップに繋がっている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
決まりごとの周知徹底、継続ができず定着されない。役割分担をしても遂行具合に差が出ている。コロナ禍で現状見通しがつかないため、地域連絡会など対外的な地域との交流に積極的に取り組む事が出来ていない。ヒヤリハットや関係各位からの意見や苦情対応などを活用しリスクマネジメントに繋がる取り組みを行っているが、しっかりと反映できているかは疑わしい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ 新しい決まり事が習慣化するまで継続した申し送りを行い意識に植え付け自覚を促す。 ・ コロナ禍で現状困難な職場外研修の参加に拘らず、スキルアップに繋がる内部研修を充実させる。 ・ 経験値の差を埋めるため「育てる」環境を整える。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 9月 19日 (15:30 ~ 15:50)
9. 人権・プライバシー	メンバー	鈴木ケアマネ・菊地・室井(稔)・渡邊・越水

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	1人	0人	12人

前回の改善計画

- ・申し送りの際、利用者様の耳に届かない環境作り。
- ・朝礼夕礼などで、職員間の情報伝達の際に利用者様の尊厳に関わる情報漏洩に意識を定着させる。

前回の改善計画に対する取り組み結果

朝礼、夕礼などミーティングの場を利用者様の居るスペースと扉を隔てた場所で行うなど一定の配慮は出来ている。特にプライバシーに関わる情報には注意しつつ申し送りを行っている。一方、日々の細かな作業の中での小さな事柄については、同じスペース内で利用者様が気に留めてしまう声量で申し送りしている状況も見受けられた。利用者様の認知度に関わらず、負の言葉を控える意識が求められる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	5	5	2	0	12 (無回答 0)
② 虐待は行われていない	10	2	0	0	12 (無回答 0)
③ プライバシーが守られている	4	8	0	0	12 (無回答 0)
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	2	6	1	1	10 (無回答 2)
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	5	6	1	0	12 (無回答 0)

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者様が快適に過ごせる事を第一に虐待や身体拘束に気を付けプライバシーに配慮しつつ、より快適なサービスを心掛けて取り組んでいる。また会議の中で定期的に振り返りを行い、意見交換の機会を設ける事により職員全員で虐待や身体拘束について話し合い、フィードバックに繋げている。利用者様に成年後見制度を活用している方がいない。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

利用者様と近い距離の範囲で申し送り等してしまうなどプライバシーへの配慮が足りない事がある。利用者様の咄嗟の行動を防止するために反射的に大きな声が出してしまったり、転倒リスクを意識してしまい一時的にご利用者様の「～したい」行動に制止を掛ける事がある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・情報漏洩に配慮することを念頭に入れ、自分達の仕事の意味や重さを理解し日々の行動を反映させる。
- ・複数の利用者様を対応する際に先行させてしまうリスク防止を限りある職員でどう対応すべきか検討する。
- ・利用者様がストレスなく如何に快適に過ごせるかを優先させるために職員の意識改革を行う。